

法事は、亡きひとを偲ぶ大切な時間
そして私への「願い」を忘れてしまわないよう
人性を軌道修正してくれる



ポスターのデータは
ホームページに掲載しています

「あみださまにごあいさつ」を
欠かさない暮らし

祖母と話してくれた
あみださまの願いを忘れないため

なせって言われたら

「あみださまは
いつでもどこでも
あなたと一緒にだよ」

それが祖母の口ぐせ

そんな祖母も
今はあみださまの世界に

その思い出が

今の私を力強く
支えてくれる

行ってきます！

忙しい日々の中でも

つなぐこぼれは生きる

今年夏はちゃんと
お墓参りに帰ろう

いまもあたたかい「願い」の中に生きている

子どもの頃
学校帰りの寄り道は
あたりまえだった

送り返す母の言葉は
「気をつけて
早く帰っておいで」だった

ある日
遊びに夢中で

気づいたら夜になっていた

「大変なことをしてしまった」
と後悔したとき

そこには
母の涙があった

送り返す母の「言葉」は
私へのあたたかい「願い」であったと
気づかされた

鬼のような母の姿が
そこにあった

恐る恐る
家に帰ると



いまもあたたかい「願い」の中に生きている



人生は思い通りにならないことの連続です。頑張っても報われるとは限らない社会。たくさんの人に囲まれているけれど、誰も私のことを分かってくれないという疎外感。誰にも頼れず自分ですべてを抱え込まなくてはならない孤独感。お釈迦さまの「人生は苦なり」の言葉が突き刺さります。

ただお釈迦さまは、思い通りにならない人生を、思い通りにしようとすることを勧められた訳ではありません。

「たとえあなたがどんな状況になったとしても、決して見捨てることなくあなたを支え、ともに生きていきます」と誓われたのが阿弥陀さまです。その誓いはお釈迦さまから親鸞聖人へ。そして私たちの先祖の方がたを通して祖父母や父母に、そして私に届けられています。お寺やお仏壇・お墓にお参りをする。それは、亡き人を通して、私にかけられた願い、そして私の生き方を支えてくださる阿弥陀さまに出会うための時間でもあります。亡き人は阿弥陀さまとともに私のあゆみを心配し、精一杯のやさしさで私を包んでくださっているのです。

